

●シリーズ●わが町の文化財へ67

世羅町指定重要文化財

笈

きゆう(おい)

昭和44年11月20日指定

2基ともかなり損傷していますが、文政8(一八二五)年の『藝藩通志』にはスケッチ図も記載されており、古くから大磯の虎・化粧坂の少将の持ち物であった笈として伝承があるものです。1基は辛うじて原形をとどめていますが、他の1基は一部のみ残っている状態です。扉には鎌倉彫の菊花の彫刻が施され、各所に用いられている金具模様と共に鎌倉時代の様式を伝えています。



●シリーズ●わが町の文化財へ68

世羅町指定重要文化財

見田の荒屋不動

平成7年12月15日指定

この不動尊像は往古より、霊験あらたかと伝わり、戦役に出る近郷の若者たちは、必ず参詣の後、出征していたそうです。この事から公的な意味合いもあり、村(旧小国村)で不動尊像を彫り、祀ったものが現在の不動明王立像(石仏)です。公設の不動尊像としては近郷でも珍しいものです。

像は総高1.7mの花崗岩製の自然石を利用したもので、不動明

王を表すしめじ(カーン)という種子の下に、左手にけんさく繻索、右手

に剣を持った不動明王立像が半肉彫りされ、向かって右脇側に

「小国村中」と大きく陰刻されており、上部にかえん火焰、下部に台

座が刻出されています。

この不動尊像の建立年月は不詳ですが、文政3(一八二〇)年

の「国郡誌下志らべ書出帳」に記録があることから、堂は江

戸時代の建立と推定

されます。また、堂

のそばには大きな檜

の古株や苔むした手

洗鉢、石燈籠や五輪

塔などがあり、古く

から信仰の場所であったことを感じさせ

